

6月1日（木）、2年2組で学級活動の努力点公開授業が行われました。

題材は「しつもんじゃんけんをしよう」です。「しつもんじゃんけん」を通して、友達に質問をしたり、友達の質問に答えたりして、互いのことを理解しようとする事ができるようにします。

2年2組では、「みんなとなかよくしよう」を合言葉に学級活動を進めています。今回の授業でも、まずは、「あっちむいてホイ」で楽しみ、心をほぐしました。

2分という時間でしたが「もっとやりたい」と、大盛り上がり。1分延長しました。その様子から、児童の仲の良さがうかがえました。

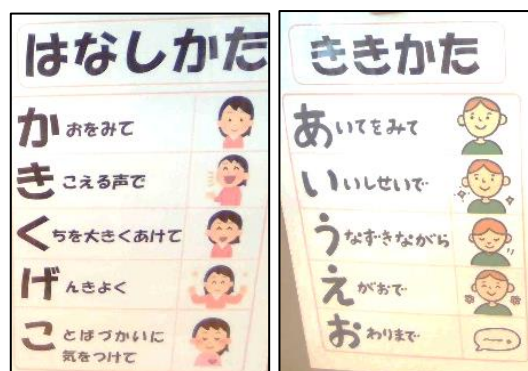


【「あっちむいてホイ」をする児童】

そして、いよいよ「しつもんじゃんけん」です。ルールを確認すると、児童は早く始めたくて体がうずいている様子でした。ここで、本来なら、話すときや聞くときに気を付けることも確認するのですが、あえて確認せず、活動に移りました。児童は、次々に友達を捕まえて、「しつもんじゃんけん」をしました。その様子は、ただ「しつもんじゃんけん」を楽しんでいるだけだということが分かりました。

ある程度時間が過ぎたところで、児童を座席に戻しました。そして、教師が、「話を聞くときには、気を付けるポイントがあったよね」と投げ掛けました。

2年2組には、話すときや聞くときのポイントを「はなしかた名人の『かきくげこ』」「ききかた名人の『あいうえお』」とキーワード化し、掲示しています。児童はそれを思い出しました。そして、全員でポイントを確認しました。



【話し方、聞き方を示した掲示物】

下の写真を見てください。2回目の「しつもんじゃんけん」では、どの児童も、相手の顔を見て聞くことができるようになりました。「聞き方」を確認し、相手の顔を見て話を聞くことによって、相手のことをしっかりと理解できている様子でした。



今回の授業の手立てのように、気を付けるポイントをキーワード化することは、低学年にとって内容を理解する上で大変効果があります。また、それらを掲示し視覚化することで、より定着します。そして、そのキーワードを普段から意識させることが大切です。